

能装束(唐織)  
明治時代 井伊家旧蔵



能装束(拾法被) 明治時代 井伊家旧蔵



能装束(厚紙) 昭和時代初期 井伊家旧蔵



能装束(唐織) 江戸時代後期 井伊家旧蔵



能装束(唐織) 江戸時代後期 井伊家旧蔵

# 能装束と歌舞伎衣裳

Noh Costumes and Kabuki Costumes

2019年10月7日(月) → 11月29日(金)

開館時間=午前10時→午後4時30分

10月11日、11月15日は午後7時まで開館、入館は閉館の30分前まで

休館日=日曜日・祝日・10月22日・11月6日～8日 ※11月3日(日)、4日(振休)は開館

入館料=一般500円、大高生300円、小中生200円

20名以上の団体は100円引、障がい者とその付添者1名は無料

ギャラリートーク=「歌舞伎衣裳について」松竹衣裳株式会社 高橋 孝子氏

10月19日(土) 午後1時30分(12時30分より受付順30名)



歌舞伎衣裳 三浦屋揚巻(助六由縁江戸屋)松竹衣裳株式会社所蔵



歌舞伎衣裳  
鏡獅子の髷(蓮獅子)  
松竹衣裳株式会社所蔵

主催=文化学園服飾博物館  
特別協力=松竹株式会社・松竹衣裳株式会社



## 能装束と歌舞伎衣裳

Noh Costumes and Kabuki Costumes

日本の伝統芸能として現在も多くの人々に愛されている「能」と「歌舞伎」、両者の魅力を衣装に焦点をあてて紹介します。能は、江戸時代に幕府の式楽とされ隆盛を極めました。その装束は、各大名が贅を尽くした豪華絢爛なものです。同じく江戸時代に、庶民の熱狂的な支持を受けた歌舞伎の華やかで目を引く衣裳は、市井の風俗にも大きな影響を与えました。本展では、当館所蔵の彦根藩主・井伊家旧蔵の江戸時代・明治時代を中心とした能装束と、松竹衣裳株式会社の所蔵する現代の歌舞伎衣裳を併せてご覧いただけます。芸能衣装ならではの大胆で華やかな意匠に注目するとともに、能と歌舞伎の衣裳の特色や共通性にも迫ります。



歌舞伎衣裳 裏の意匠(助六由縁江戸屋)松竹衣裳株式会社所蔵



歌舞伎衣裳 白拍子舞(原鹿子娘蓮成寺)松竹衣裳株式会社所蔵



能装束(舞衣) 江戸時代後期 井伊家旧蔵



歌舞伎衣裳 藤の精(藤娘)松竹衣裳株式会社所蔵



文化学園服飾博物館  
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM

〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル  
TEL.03-3299-2387 JR・京王線・小田急線新宿駅(南口)より徒歩7分  
都営地下鉄新線(都営大江戸線)都営三軒茶屋駅(都営大江戸線)より徒歩4分 地下鉄出入り口D11に隣接

学校法人文化学園  
文化学園大学 / 文化ファッション大学院大学 / 文化服装学院  
文化外国語専門学校 / 文化出版局 / 文化学園服飾博物館